

グループホームゆりはま運営推進会議 報告書

事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム ゆりはま			
開催日	令和5年5月31日(水) 14:00~14:30			
開催場所	グループホーム ゆりはま			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	地域住民の代表	2名		
	地域包括支援センター	0名		
事業所出席者	グループホーム	1名	入居者代表	1名
	事務局	2名	入居者家族	1名
欠席者	地域包括支援センター代表者			

《 グループホーム 状況報告 》 (令和4年3月21日~令和5年5月20日)

基本目標						
利用者の状況	入居者	18名 (定員: 18名)				
	年齢	81歳~103歳 (平均年齢: 90.1歳)				
	介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	3名	7名	4名	3名	1名	2.6
入退居の状況	新規利用者	なし				
	退居者	なし				

待機者 (15名)

新規申し込み (4月2件、5月0件)

入退院関係

- 3/18 1名入院 (誤嚥性肺炎) → 3/30 退院

【行事関連報告】

月日	内容	参加者
3月3日	ひなまつり行事	ひな壇を前に写真撮影、手作り甘酒と手作りお菓子で季節を感じていただく。 18名
3月下旬	お花見ドライブ(桜)	東郷湖周辺や倉吉市会下谷川沿いをドライブ・写真撮影し、お花見を楽しんで頂く。また、外出による気分転換を図る。 18名
4月23日	お花見ドライブ(芝桜、ポタン)	めぐみの湯公園の芝桜や、燕趙園の牡丹を見て、季節をあじわっていただく。また、外出による気分転換を図る。 18名
5月18日	ゆりはま大平園との合同花植え交流	他施設との交流を図り、屋外で活動を行う事で気分転換を図る。 GH ゆりはま6名 ゆりはま大平園 3名
*毎月誕生会実施。天候を見ながら施設周辺を散策。		

【研修】

月日	内 容	備考
3月15日	コンプライアンス研修	職員14名
4月21日	感染症研修(マスクのフィッティング)	職員17名
4月28日	新型コロナウイルス感染者対応シミュレーション研修(個人ワーク・グループワーク)	職員17名
5月3日	口腔ケア研修	職員17名

【事故報告について】(令和5年3月1日~令和5年5月20日)

発生月	件数	介護度	年齢	発生又は 発見時間	内 容	備考
3月	1件	2	93	14:00	トイレで転倒 ・トイレの床にやや左側臥位の状態で横たわっている。	右頭部にたんこぶできるが経過観察し、その後体調変化なし。 ・排泄介助が終了するまで、本人の側を離れないよう対策し、再発していない。
4月	2件	1	92	2:57	居室で転倒 ・着替えようとタンスの所に行こうとした際に足が滑った。	背中少し赤みあり。左肘、膝に擦り傷あるが処置の必要なし。経過観察し、その後の体調に変化なし。 ・居室内環境を整え、すぐ手の届く場所にタンスを配置し、再発していない。
				8:50	下剤の飲み忘れあり ・昼食後の服薬チェックの確認不足(毎食後薬と一緒に点眼薬もあり、入れ方が点眼薬の下になっていた為、見えにくい状態であった。与薬チェック表には丸印がついていたため、服薬していると思い込んでしまった)	看護師報告で経過観察。体調の変化なし。 ・服薬後の空ケースの確認者を指定し、責任もってチェックする。 ・手順書を確認し、服薬手順方法の周知を行う。

5月	2件	2	91	5:00	居室内で転倒 ポータブルトイレに行こうと してバランスを崩し、手すり 代わりにしていた椅子と共に 転倒。	打撲部分があり、様子観 察の実施。 ベッド柵を開閉式の介助 バーに変更。 居室内環境を見直し、ス ムーズに歩行できるよう な動線を確認した。
		2	89	9:28	居室にて転倒 布団をたたみなおしてい たら、バランスを崩し転倒。	膝の痛みが原因であり、 痛みの強い時は、車椅子 対応を行う。痛みの観察 を行い、強ければ頓服を 服用する。

### 【感染症発生状況】

ご入居者感染なし。

引き続き感染対応徹底していく。

### 【苦情・意見・要望について】

#### ・お褒めの言葉

誰が	受付方法	内容
入居者のご家族	電話	『本人と電話している時に、「最近忘れてしまう事が多くなってしまうけど、良いこともある」「心配がない」「職員さんが声をかけてくれる」「忘れる事も良い事」と本人から前向きな言葉が聞けてうれしく、皆さんに良くしてもらっているんだなと感謝しています。色々な行事に参加出来てありがたいです』という言葉を受けた。

#### ・ご意見、要望

ご意見	回答
薬の事故がやはり発生してしまっているが、チェック体制などはどうなっているのか？	基本は手順書があり、手順書に従って薬のセットや配薬を行っている。薬の事故は利用者の体調にも関わる事であり、ゆりはまでは更に二重チェック三重チェックを行っている。人の手が加わってくる業務なので、ミスが出てしまう事があるが、ミスをなくしていけるよう今後も取り組んでいく。
事故報告の中で居室での転倒事故が多いが、普段は居室の入り口の扉は閉まったままなのか？	普段から、扉は完全に締め切るのではなく、居室内での行動の把握や、物音が聞こえるようにするため、少し開けている。

コロナ禍での入所で、居室内を一度も見たことが無いので、どんな生活をしているのか、娘としては気になっている。	利用者の居室内の写真を撮り、その画像を毎月送付する広報誌と一緒に同封し、どのような生活状況なのか、家族にも把握して頂けるよう計画していく。
---	---

次回：第2回運営推進会議予定 令和5年7月26日（水）14：00～14：30